

由良川水系・二級水系河川整備計画検討委員会
第26回資料
(二級河川高野川水系河川整備計画について)



高野川の浸水被害状況(平成16年10月台風23号【高野由里】)

平成29年5月10日
京都府

目次

1. 現状と課題

- ・過去の洪水と被災状況
- ・流況と水利用の状況
- ・河川環境

2. 河川整備計画の目標

- ・対象期間
- ・整備目標
- ・対象区間

3. 河川整備の実施に関する事項

- ・整備内容

4. 河川維持に関する事項

- ・河川維持の種類及び施工の箇所

5. 河川整備を総合的に行うために必要な事項

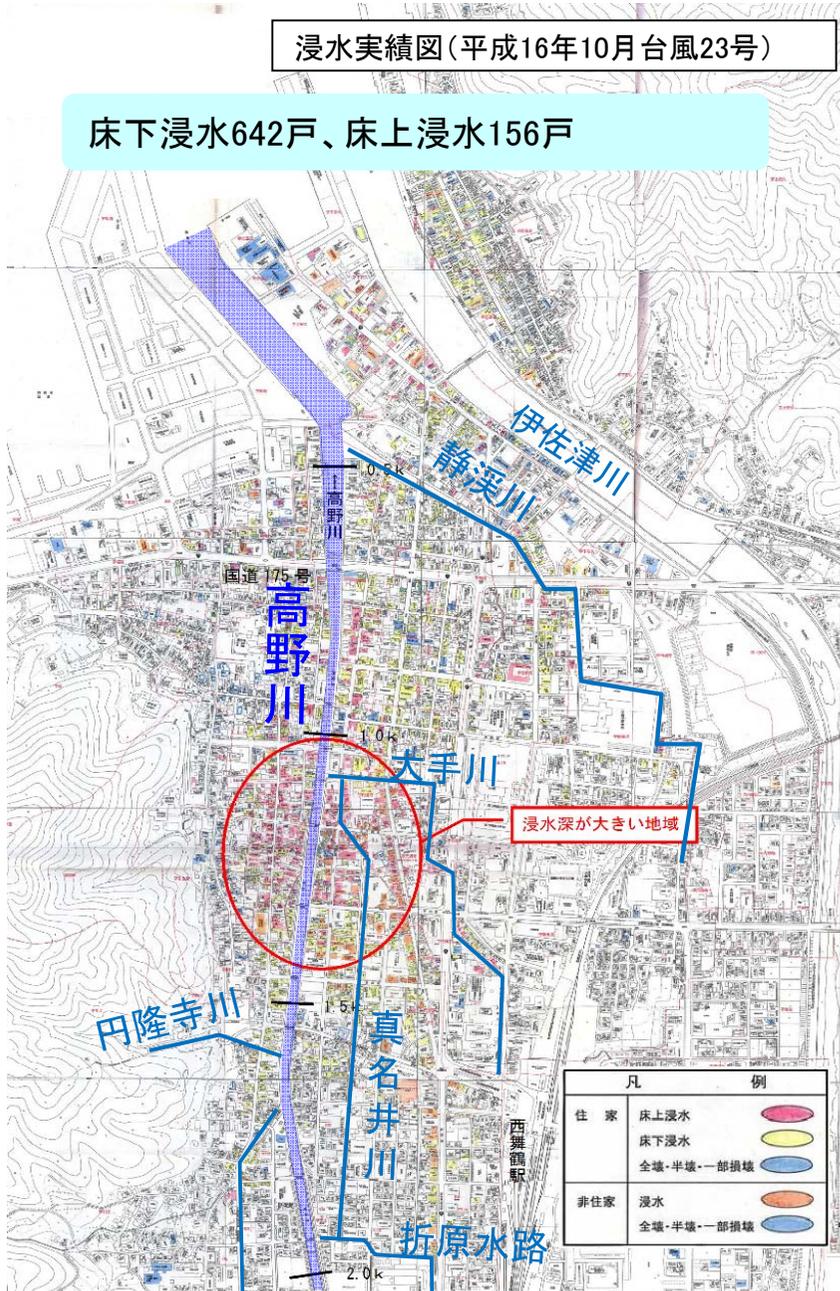
6. その他

- ・河川整備計画策定のスケジュール

1. 現状と課題 (過去の洪水と被災状況)

浸水実績図(平成16年10月台風23号)

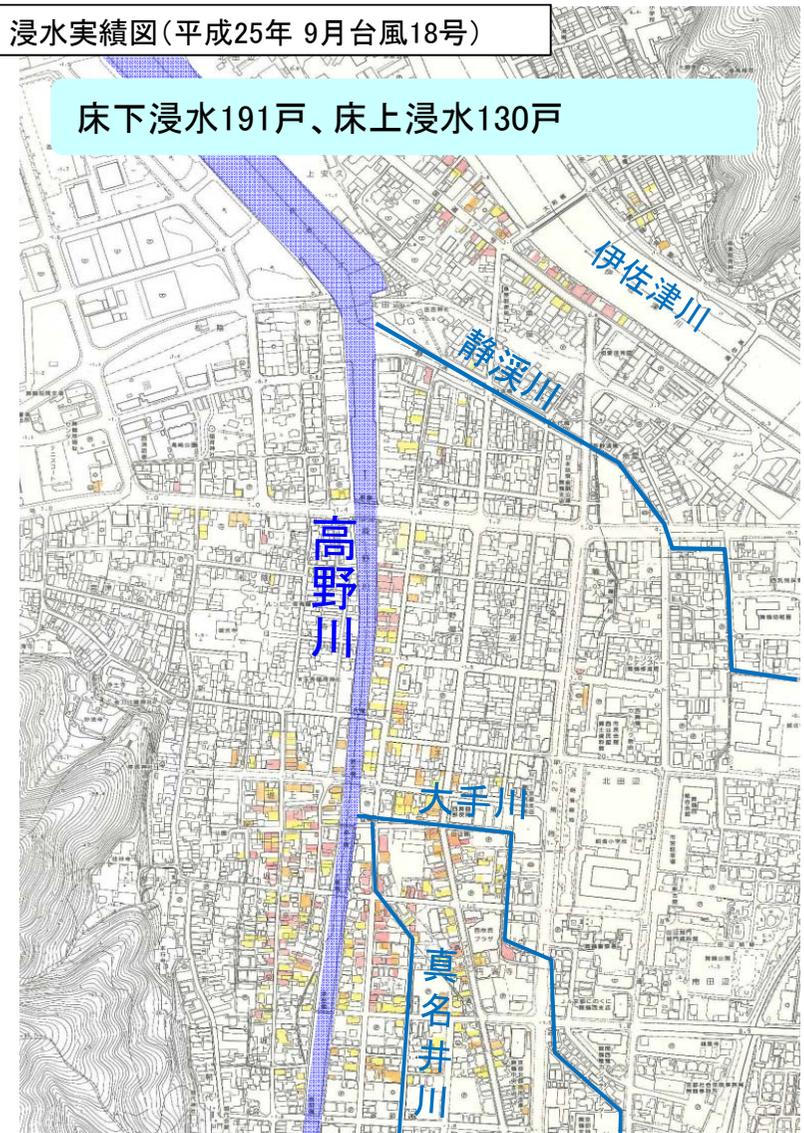
床下浸水642戸、床上浸水156戸



出典:「中東18地振河第1301号の2の1高野川地域振興河川改修業務委託報告書」

浸水実績図(平成25年9月台風18号)

床下浸水191戸、床上浸水130戸



凡例
 : 床上浸水
 : 床下浸水

1. 現状と課題 (流況と水利用の状況)

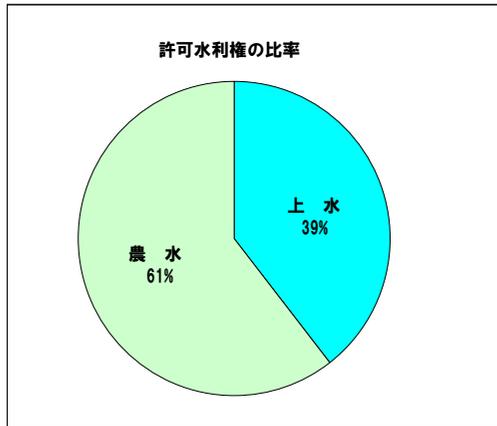
利水

河川名	高野川		
許可水利権	上水	件数	1
		水量(m ³ /s)	0.0385
	農水	件数	4
		水量(m ³ /s)	0.0590
	融雪	件数	0
		水量(m ³ /s)	0
工水	件数	0	
	水量(m ³ /s)	0	
慣行水利権	農水	件数	24
		受益面積(ha)	47.96

※最大取水量

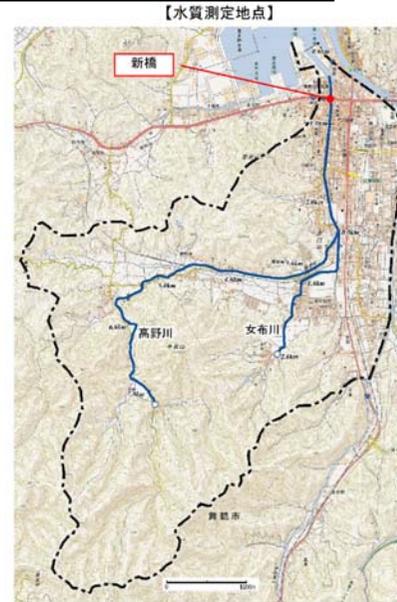
(平成25年4月時点)

※出典 京都府河川課

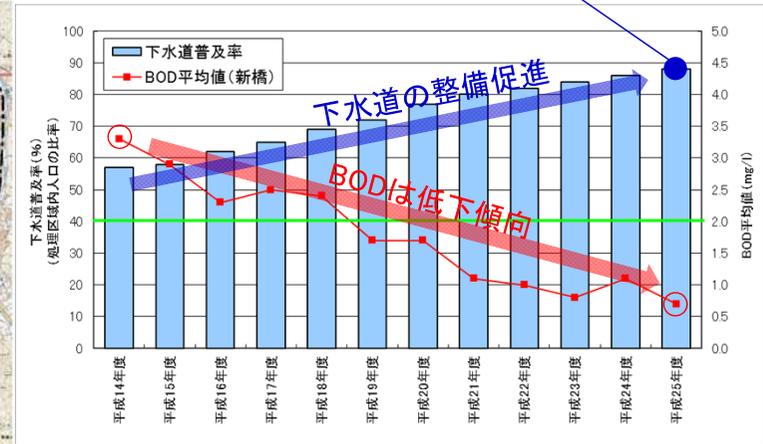


- 許可水利権・・・上水(0.04m³/s)と農水(約0.06m³/s)に利用されている。
- 慣行水利権・・・現在24件あり、約48haの農地を灌漑している。

水質



下水道普及率=87%



下水道の整備等によりBODは低下傾向

3.3mg/l(H14) → 0.7mg/l(H25)

(※ 通常の水道水として利用できる水質が、BOD=2.0mg/l)

■利水・水質に関する課題

- 近年、渇水による瀬切れや農作物の被害報告は無く、適切な水利用がなされており、現在の流況が保たれば問題は無い
- 流水の正常な機能の維持に関しては、良好な水質、多様な生物の生息・生育環境、景観等が維持されるように努める。

1. 現状と課題（河川環境）

希少種保護の観点から、非公表としています。
（委員会終了後に資料を回収します。）

2. 河川整備計画の目標（対象期間・目標規模の設定）

【対象期間】 概ね30年間とする

【目標規模】 平成16年台風23号の洪水による人家浸水被害解消

※ 超過確率＝概ね1/10 （基準点（引土）における計画流量＝100 m³/s）

【目標規模の考え方】

- 近年被害の著しかった出水への対応
- 府内の他の河川（二級河川）とのバランス

二級河川の多くは、「平成16年台風23号対応」

No	年月日	水害原因	被害家屋数(戸)			浸水面積 (ha)		
			床下 浸水	床上 浸水	計	農地	宅地	計
1	S28.9.25	台風13号	(14,011)	(4,602)	(18,613)	(735.3)	(90.0)	(825.3)
2	S34.9.26	伊勢湾台風15号	(7,900)	(1,328)	(9,228)	不明	不明	不明
3	S54.9.30	台風16号	514	10	524	7.7	15.5	23.2
4	S54.10.18	台風20号	43	0	43	0.0	2.7	2.7
5	S56.8.22	台風15号	70	4	74	0.0	0.1	0.1
6	S62.8.9	豪雨	45	0	45	0.0	0.9	0.9
7	H2.9.19	台風19号	104	4	108	0.0	1.5	1.5
8	H10.9.22	台風7号	(707)	(133)	(840)	(163)	(4.1)	(167.1)
9	H11.6.29	梅雨前線	38	0	38	0.0	0.4	0.4
10	H16.10.20	台風23号	642	156	798	1.5	50.1	51.6
11	H22.9.12	台風9号	40	0	40	0.0	0.4	0.4
12	H25.9.16	台風18号	191	130	321	0.0	20.0	20.0

※ () 書きは、高野川水系以外のものを含む

既往水害一覧

水系	支川	1/3~1/5	1/5	1/10	1/30	1/50
高野川				平成16年台風23号		
伊佐津川						昭和28年台風13号
	米田川			○		
大手川					○	
竹野川				平成16年台風23号		
	鳥取川			平成16年台風23号		
	小西川			平成16年台風23号		
野田川						
	加悦奥川		平成16年台風23号			
	岩屋川		平成16年台風23号			
川上谷川				平成16年 台風21・23号		
	永留川			平成16年 台風21・23号		
福田川		平成10年台風7号、 平成16年台風23号				

京都府の二級河川の計画規模

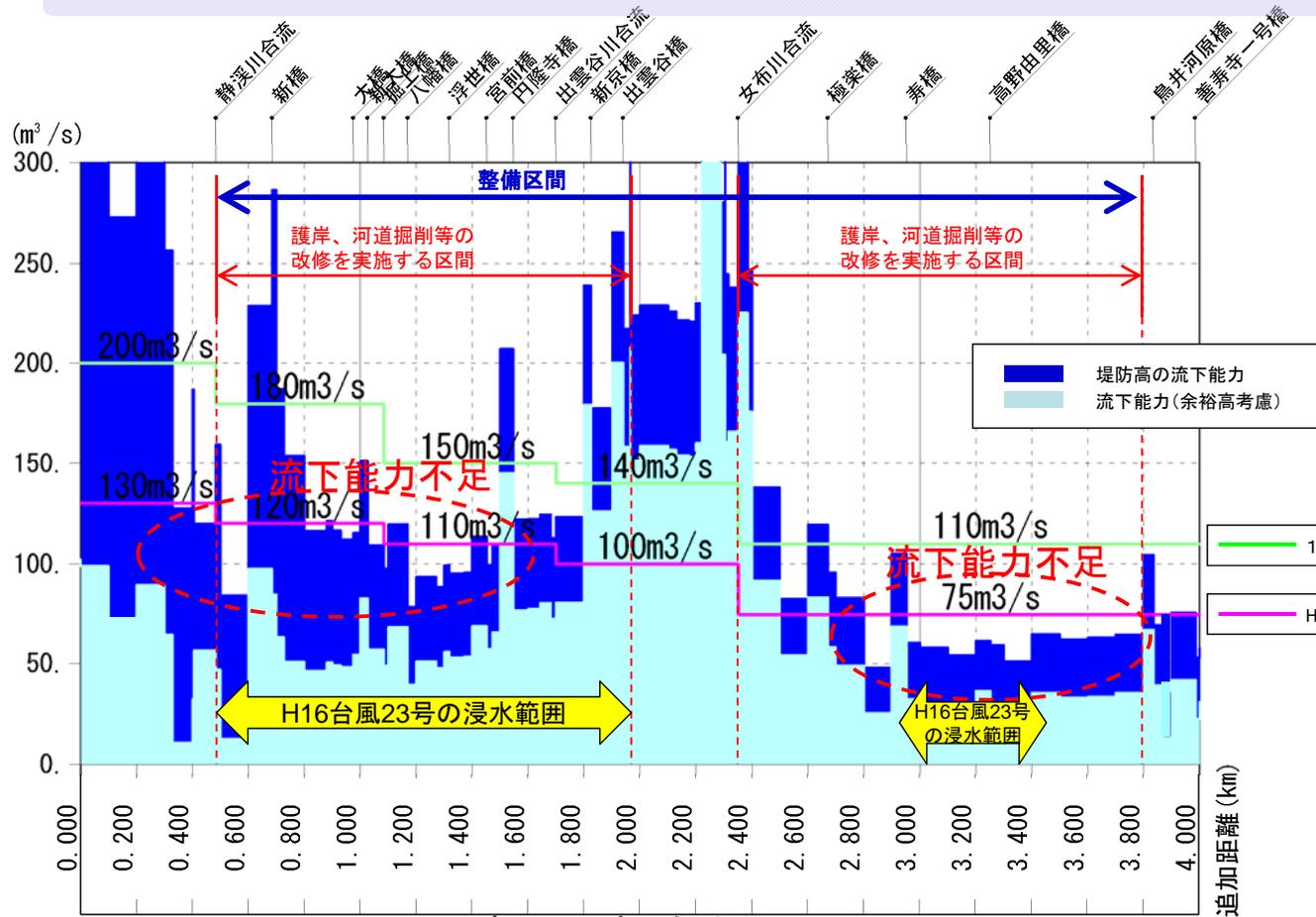
2. 河川整備計画の目標 (計画対象区間)

【計画対象区間】

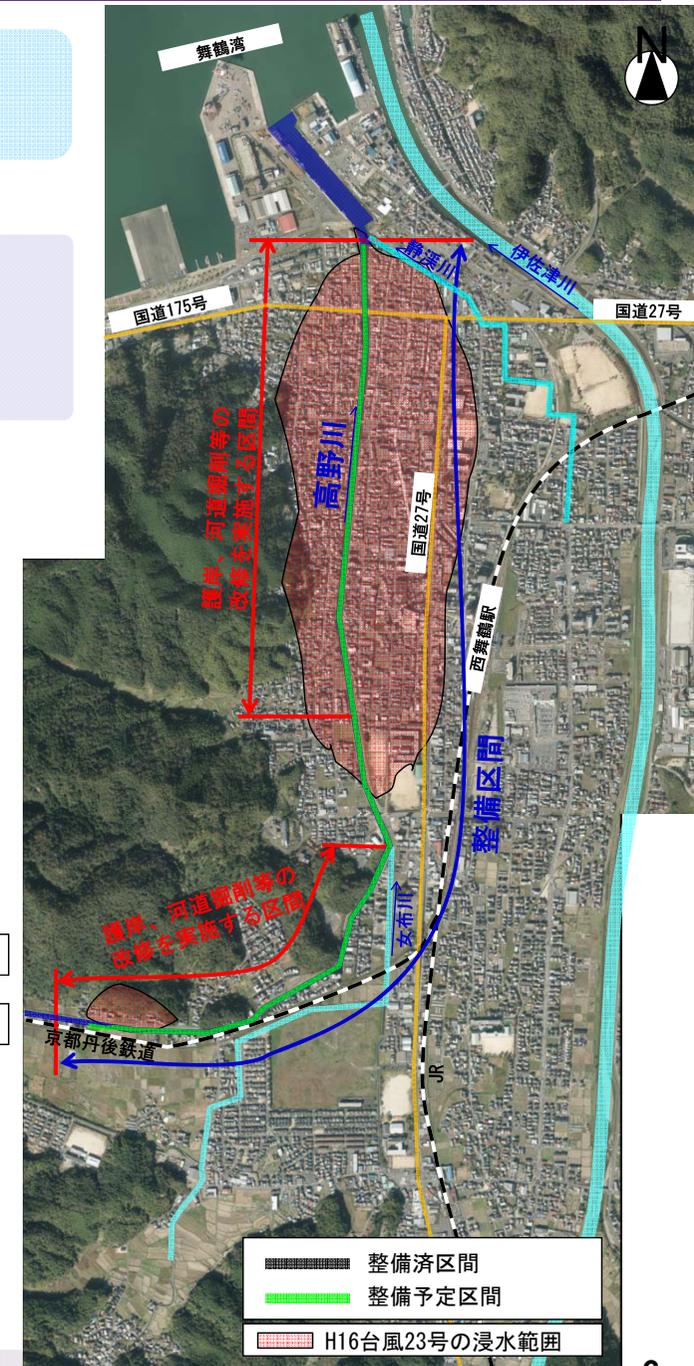
静溪川合流点(0.490k)～～3.800k地点 約3,310m

【対象区間抽出の考え方】

- 概ね1時間50mmの降雨水準に達していない区間
- 近年出水被害により人家浸水被害が複数回発生している区間



高野川 流下能力図



3. 河川整備の実施に関する事項 (整備の内容)

【整備概要】

- 築堤と河道掘削により、流下能力の拡大を図る。
- 城下町の名残のある町並みや建築物等の景観に配慮し、既存の護岸の石積みを活用するなど良好な景観の形成に努める。
- 逆流防止対策や内水氾濫対策、ソフト対策等を実施する舞鶴市など関係機関との連携を図る。

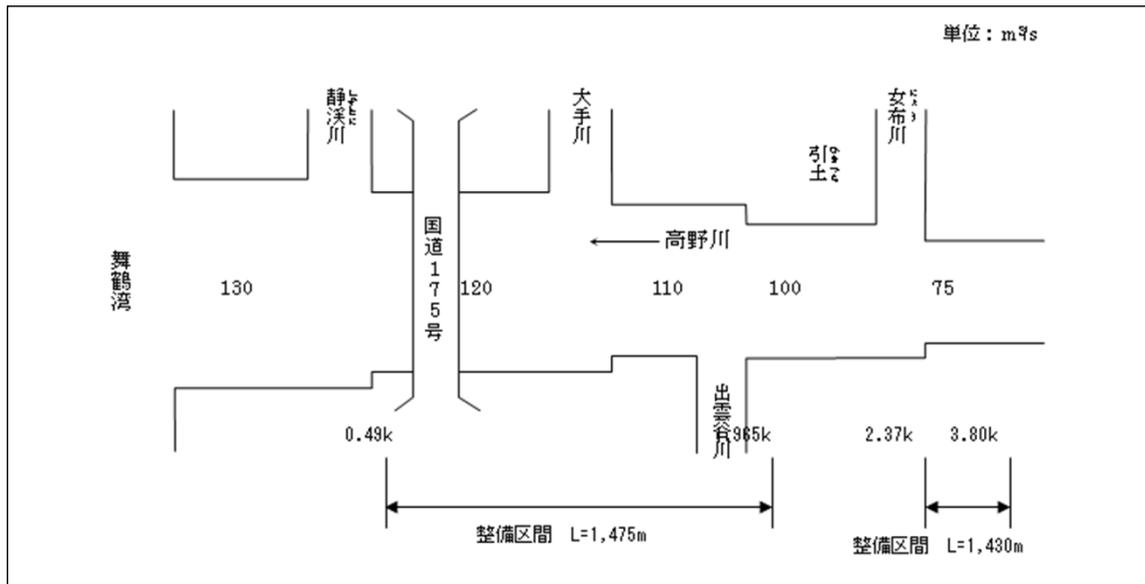
【縦横断形状の設定方針】

「縦断形状」

- ・ 計画高水位 … 基本方針で設定した水位
- ・ 河床勾配 … 現況河床勾配や堤内地盤高の勾配から、1/940とする
- ・ 余裕高 … 計画流量200m³/s未満 ⇒ 0.6m
- ・ 出発水位 … 昭和43年～平成18年の舞鶴湾朔望平均満潮位 (T. P. +0.40m)

「横断形状」

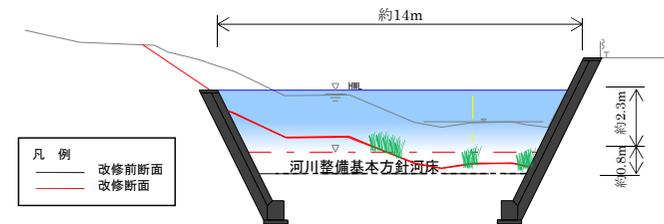
- ・ 護岸勾配 … 現状と概ね同様の法勾配(1:0.5)とする
- ・ 河床高 … 河床を切り下げて河道を拡大して計画流量を流下させる
- ・ 河道際に家屋が近接する箇所では、パラペットで対応する



高野川 流量配分図



高野川代表断面図(1.4k)



高野川代表断面図(2.8k)

4. 河川維持に関する事項

【河川維持の目的】

治水、利水及び環境の観点から調和のとれた、機能を十分に発揮出来るような維持管理を行う。

河川維持の内容	目的
①河川管理施設の維持管理	
河川巡視や河川管理施設の点検	危険箇所・老朽箇所の早期発見・補修
除草、樹木の伐採、土砂の除去	河川断面の確保
②河川の適正な利用 及び 流水の正常な機能の維持	
雨量・水位・流量等のデータ蓄積・分析	水利用の適正化、必要な流量の確保
③河川環境の整備と保全	
水質： 水質の監視、関係機関との情報共有	安定した水質の維持、向上
生物： 定期的なモニタリング調査 学識者の意見聴取	水系本来の多様な動植物の生息・生育・繁殖環境の保全 外来生物対策
水辺空間： 施設の配置・材料の選定等への配慮	周辺環境との調和に配慮した景観形成
地域住民・市民団体などとの連携	親水性や安全性のある水辺空間の創出 うるおいのある水辺空間の活用 不法占用や不法投棄等への対応

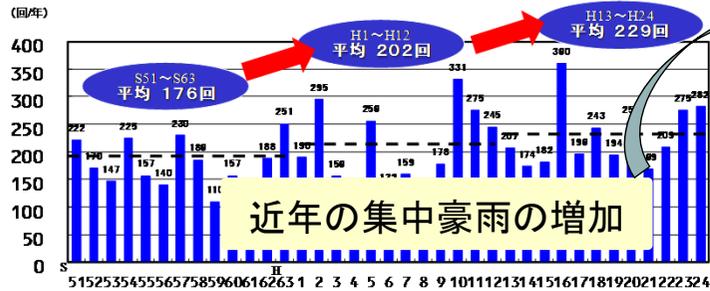
【局所的な改良工事等】

必要に応じて局所的な改良工事や、洪水等により被災した場合には、直ちに復旧を行うなど、状況に即した適切な対応に努める。

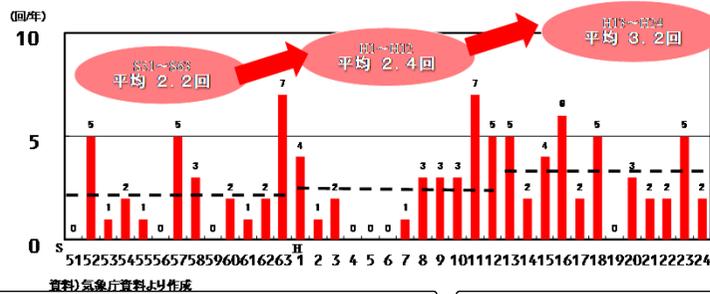
5. 河川整備を総合的に進めるために必要な事項

① 地域住民と連携した災害に強いまちづくり

1. 1時間降水量50mm以上の年間発生回数(1000地点あたり)



2. 1時間降水量100mm以上の年間発生回数(1000地点あたり)



ハード対策だけでなく、ソフト対策の推進が必要

ソフト対策	
防災情報の提供	防災カメラの設置 氾濫常襲区間への水位計の設置 インターネット・地上デジタル放送等の活用
警戒避難体制の整備	浸水想定区域図 洪水ハザードマップ



地域との連携・協働、防災訓練等を通じた効果的な運用・改善に努める

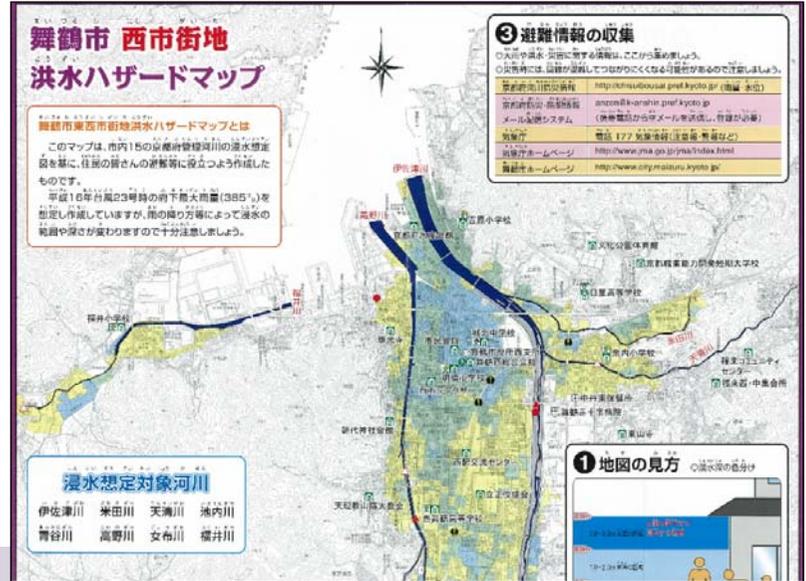
舞鶴市防災ガイドブック



総合防災訓練



ハザードマップ



5. 整備を総合的に行うために必要な事項

② 地域住民と連携した災害に強いまちづくり

- 土地利用の規制や誘導を含めたまちづくりについて、河川整備の進捗状況等を踏まえ舞鶴市と連携して検討する。
- 流域の貯留・浸透機能を維持・強化するため、舞鶴市や地域、関係部局と連携し、自然の保水機能を持つ土地等の整備・保全や流域内の貯留・浸透施設の整備を推進する。

舞鶴市宅地かさ上げ
助成金制度

対象経費上限=3百万円
補助率=3/4(市内業者施工)
1/2(上記以外)



かさ上げイメージ

雨水貯留施設(マイクロ香龍)
補助制度

対象経費上限=45,000円
補助率=3/4



模式図



③ 地域住民と連携した河川整備・河川管理の推進

【河川整備】

- 地域特性や住民の意見を反映させた川づくり
- 整備内容を説明する看板の設置など、地域住民への情報提供

【河川管理】

- 地域住民からの情報を活用した、河川環境実態の把握

【地域との連携・協働】

- 地域住民等と連携・協働した取り組みやイベントの開催
- 学校や地域との連携・協働により、自然体験活動や環境学習等



高野川の水生物調査(環境学習)

6. 河川整備計画策定のスケジュール（案）

